黒い狼（1960）

THE SINGER NOT THE SONG

メディア 映画
ジャンル 西部劇
製作国 イギリス
色彩 Color
時間 132分
初公開日 1961/07/22
公開情報 ＲＫＯ

【解説】

人間の原罪をテーマにしたーーと言うと、いかにも重たげだが、英国でトップの二名優の的確な表現もあって、見応えのあるドラマになっている、メキシコを舞台にした現代西部劇。神父キーオ（ミルズ）は、教会を憎悪する虚無的な悪漢アナクレート（ボガード）の支配するカンタナの町に、長らくそこで貢献したゴメス神父の後任としてやってくる。洗礼をしてくれたゴメス師をアナクレートはいいように牛耳ったが、キーオにその手は通じなかった。彼の信仰に対して自分が半生抱えてきた問いをぶつける気になったアナクレートは、村人を名前のＡＢＣ順に殺していくという威嚇行為を続けながらも、次第に心をひらいていく。原題の“歌手だ、歌ではない”とは、このニヒルな悪漢の命題で、歌とはすなわち信仰の暗喩である。彼はキーオを、まず、信仰の伝え手としては認めたのである。彼らの前にいつも、白馬に乗って現れる地主の愛娘ロチャ（ドモンジョ）は、許婚者との婚礼を間近に控えていたが、新任の神父に抱いた愛情をどうすることもできず、アナクレートに惹かれたと偽りの手紙を残して、式の最中逃げ出し、彼に匿われた。彼は彼女の本心を察していたので親切に応じたが、世間的にみればこれは誘拐で、神父は彼女を取り戻しに来る。そこで、アナクレートは交換条件に、彼女への愛情を認め、自分を神の名のもとに赦免することを神父に誓わせるが、結局、日曜のミサでキーオはこれを翻し、アナクレートと宿命の対決をする。Ｒ・ベイカーの演出は冗漫で、先鋭的な主題を伝えきってはいないが、黒づくめの格好で黒猫を抱くスタイリッシュなボガードの悪魔的な存在感は見事。

【クレジット】

監督	ロイ・ウォード・ベイカー	Roy Ward Baker
脚本	ナイジェル・バルチン	Nigel Balchin
撮影	オットー・ヘラー	Otto Heller
出演	ダーク・ボガード	Dirk Bogarde
	ミレーヌ・ドモンジョ	Mylene Demongeot
	ジョン・ミルズ	John Mills

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.